事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	37285
事業名	障がい児地域支援マネジメント費					
評価担当課	所属	保)障がい保健 障がい福祉課			電話番号	011-211-2936
施策名	支援や配慮が必要となる子どもや家庭が、困難な状況に応じた適切					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理費		
	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助・助成 ○ その他					

事業 内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	市内障害児通所支援事業所は、本事業が開始された平成28年4月には315ヶ所、令和6年4月には680ヶ所と急増。障害児通所支援事業所の支援内容は様々であり、療育の質の確保を図るためには、事業所のスキルアップが必要。マネジャーが事業所を訪問する中で、家族支援の必要性を感じていない事業所、感じていても介入に困難さを感じている事業所が多くあることを把握している。今後も、マネジャーから各事業所に対し、様々な情報提供やより積極的な働きかけを行っていく必要がある。
	事業内容(何を実施し)	児童発達支援センター(民間5か所)に障がい児地域支援マネジャーを配置。担当区域内の障がい児通所支援事業所に対し、障がい児地域支援マネジャーが訪問等を実施。療育に関する情報発信、障害児通所支援事業所への専門的療育支援や関係機関の支援調整を行っている。令和4年度より、8名の障がい児地域支援マネジャーを配置し、全市体制での取組となっている。令和5年度は、延726件(一部電話含)の訪問を実施。障がい児地域支援マネジャーによる年間の事業所訪問率(年度内訪問実績÷年度4月時点の事業所数)は108%であった。障がい児地域支援マネジャーによる障害児通所支援事業所の年度内初回訪問における総合評価が安心・やや安心の割合は73%となっており、いずれもアクションプランの目標値を達成している。
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	障がい児地域支援マネジャーが障害児通所支援事業所へアウトリーチして情報発信・助言、関係機関間の支援調整等を行うことにより、事業所の療育体制の改善や家族支援強化を図る。
	他都市の状況	全く同一の事例はないが、岡山市等で類似の事業が実施されている
	市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☐ 評価 ☒ 対象外

令和4年度決算額	30,711 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0.3 人工
令和5年度予算額	31,000 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0.3 人工
令和5年度決算額	30,711 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0.3 人工
令和6年度予算額	33,000 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0.3 人工

指標	アウトプット活動指標1	年度内訪問実績÷年度4月時点の事業所数				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		109	100	108	100	100	100
		↓					
	アウトカム成果指標1	総合評価が安心・やや安心の割合				という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		70	71	73	72	73	74
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	市内ほぼすべての事業所に訪問し、家族支援強化や療育の質の向上のための情報提供、相談支援を行うことで、安心・やや安心の割合が増加。今後も継続していく。					
	アウトプット活動指標2					という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
アウトカム成果指標2					という状態にしたい、成果を挙げたい		
	令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定	
指標2の評価、未達理由、今後の考え方							

今年度の見直し内容	なし
来年度以降の方向性	引き続き訪問等のアプローチで、障害児通所支援事業所の活動状況の把握や、事業所に対する情報発信・療育支援をすすめていく。また、障がい児地域支援マネジャーの質の向上にも取り組んでいく。